



転倒転落予防研修会実施の 時期設定とD i N Q Lデータ の活用



地方独立行政法人
静岡市立静岡病院
医療安全転倒転落作業部会





DiNQLとは

Database for
improvement of
Nursing
Quality and
Labor

労働と看護の質向上のための
データベース事業



◆ DiNQLとは

看護の現場の状況を的確に数値化し、蓄積された多くのデータを総合的に分析し、課題となるものの解決もしくは発見を目指す日本看護協会のデータベース事業です

DiNQLとは

データベースの内容

病院	病棟情報	規模や種類など		
看護職情報		勤務体制	経験年数	人数など
看護実践の内容		患者アウトカムなど		

12カテゴリー 170項目のデータ数から成り立つ

**同規模の病院や同じ医療機関の他病棟と比較した
ベンチマーク評価を行うことができる**



医療安全管理委員会作業部会

A部会：人工呼吸器 機器管理 窒息 誤嚥

B部会：患者誤認

C部会：輸血 注射

D部会：手術 検査

E部会：転倒転落 入浴

F部会：チューブ、ドレーン管理

G部会：処方与薬 調剤

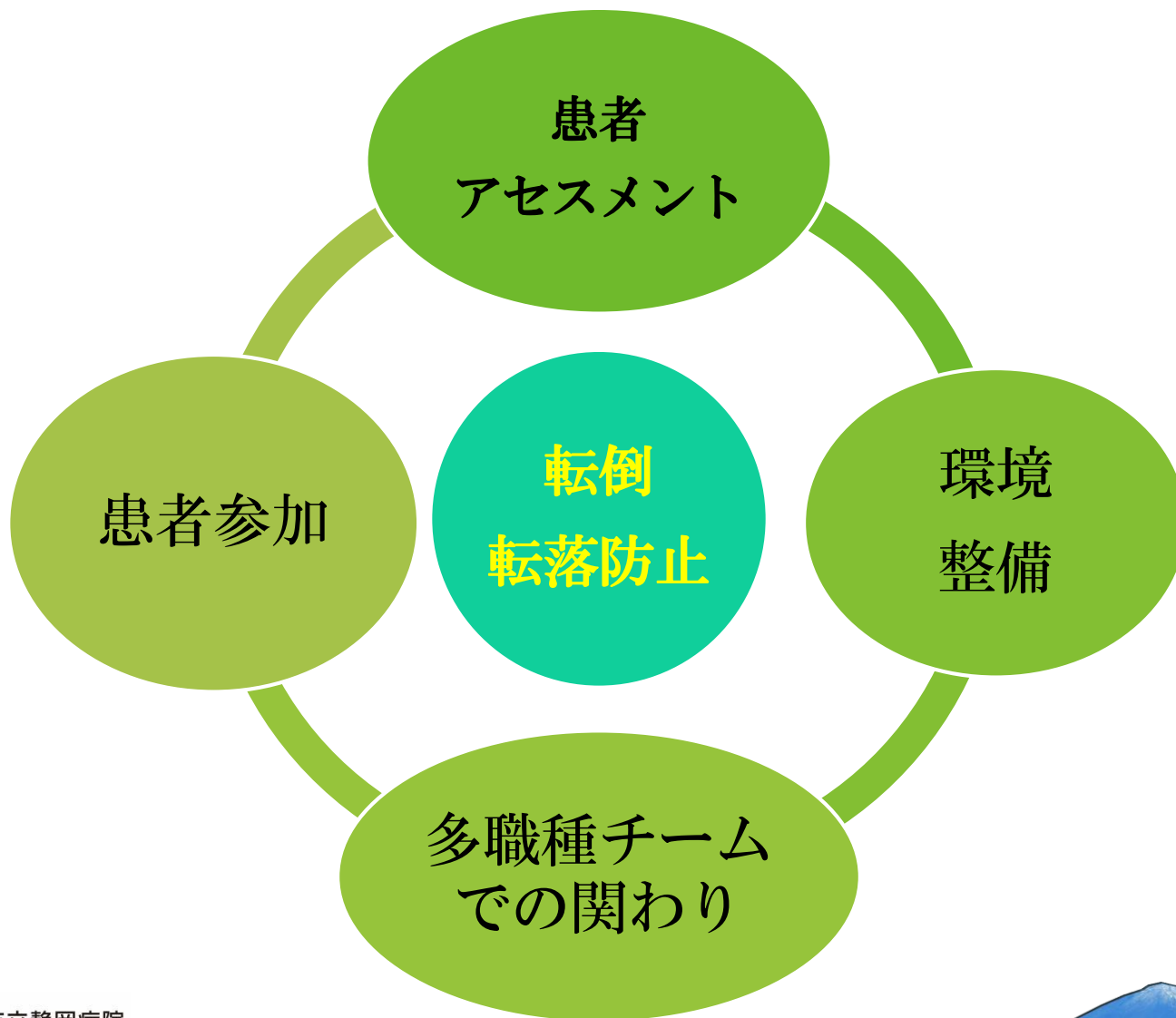
H部会：その他



◆ 転倒転落部会メンバー

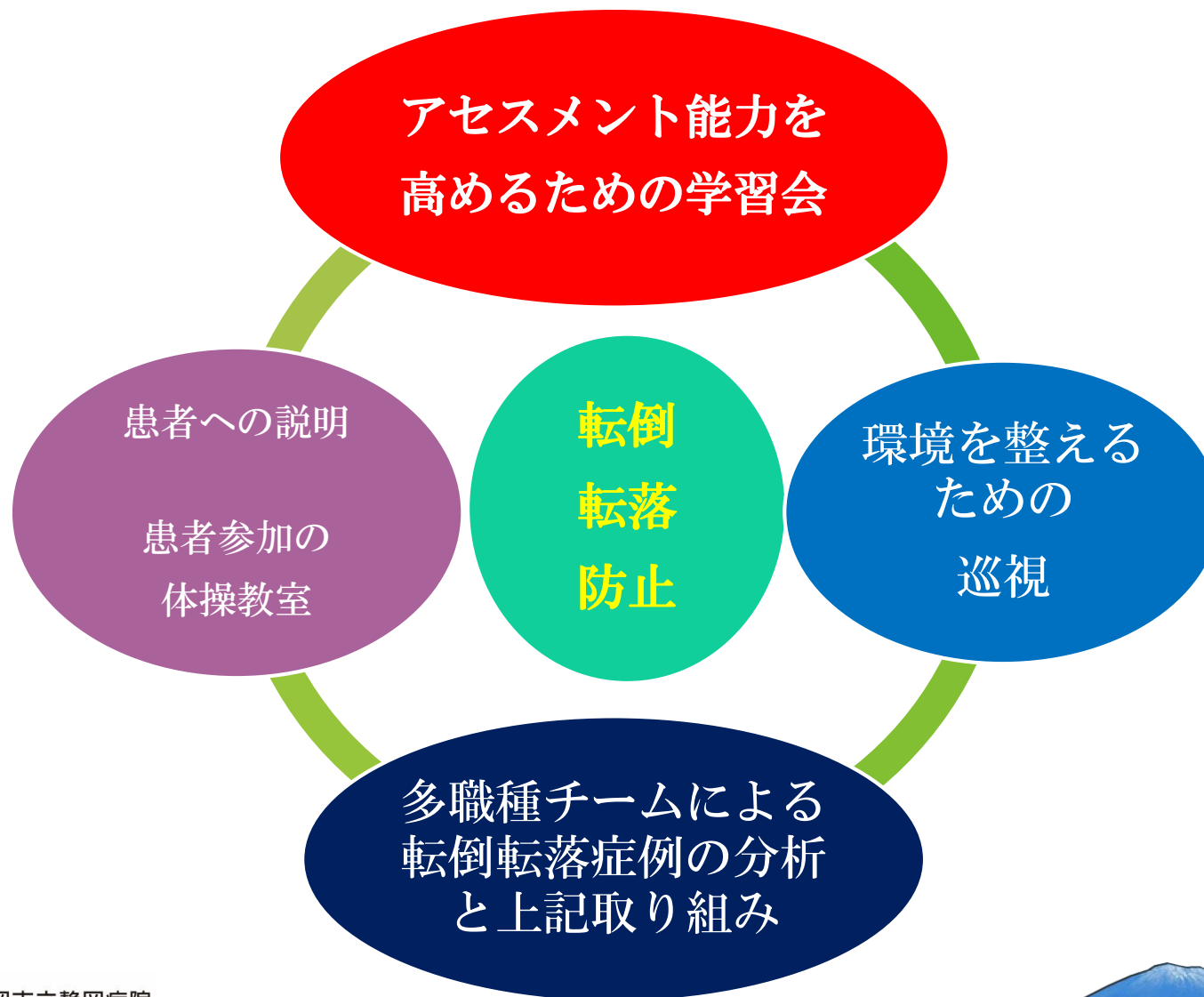
- 整形外科医師 1名
- 看護師 内科系 外科系 緩和 周産期
- 小児科より 5名
- 理学療法士 1名
- 施設課 事務職員 1名

❖ 転倒転落防止のために





転倒転落防止のために



◆ 転倒転落アセスメントスコア

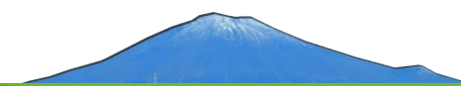
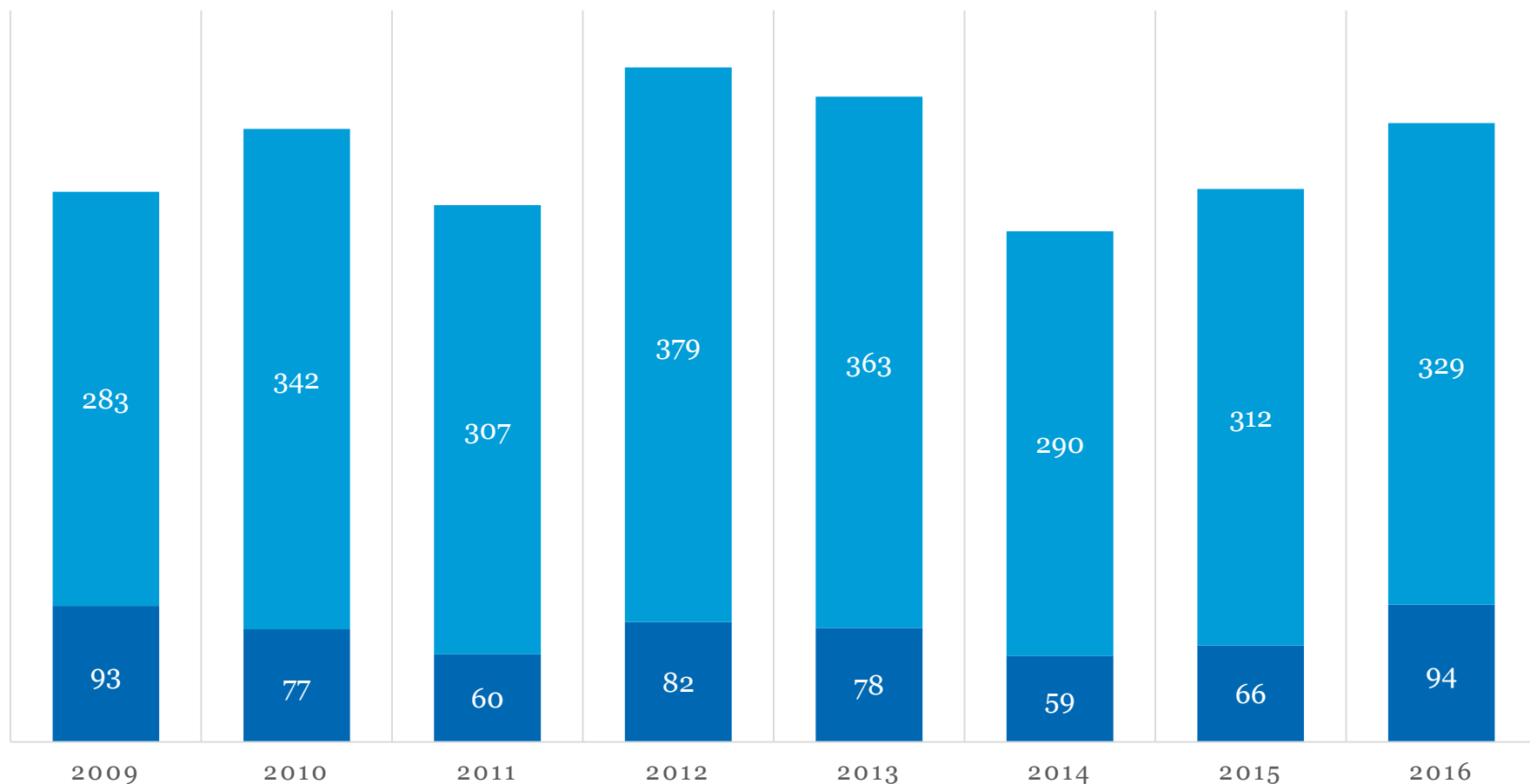
項目	チェックポイント	点数
年齢	<input type="checkbox"/> 65歳以上	1
患者特徴	<input type="checkbox"/> 何事も自分でやろうとする <input type="checkbox"/> 環境の変化（入院生活 転入）に慣れていない	1
感覚	<input type="checkbox"/> 平衡感覚障害がある <input type="checkbox"/> 視野、視力、聴力障害があり、日常生活に支障がある	2
既往歴	<input type="checkbox"/> 転倒転落したことがある	2
薬剤	<input type="checkbox"/> 眠剤、鎮痛剤、麻薬、降圧利尿剤の使用	4
症状	<input type="checkbox"/> 38度以上の熱がある <input type="checkbox"/> 貧血がある（Hb8.0以下） <input type="checkbox"/> 手術後3日以内 <input type="checkbox"/> 症状、ADLが急に回復、悪化している	5
認識力	<input type="checkbox"/> せん妄不穏がある <input type="checkbox"/> 判断力、理解力、記憶力の低下がある	5



転倒転落インシデントの状況

転倒転落件数の推移

■ 転落 ■ 転倒



❖ 転倒転落インシデントの状況

- なかなか減らない転倒転落
- 起こった事例を振り返るだけでは、突破口は見いだせない！

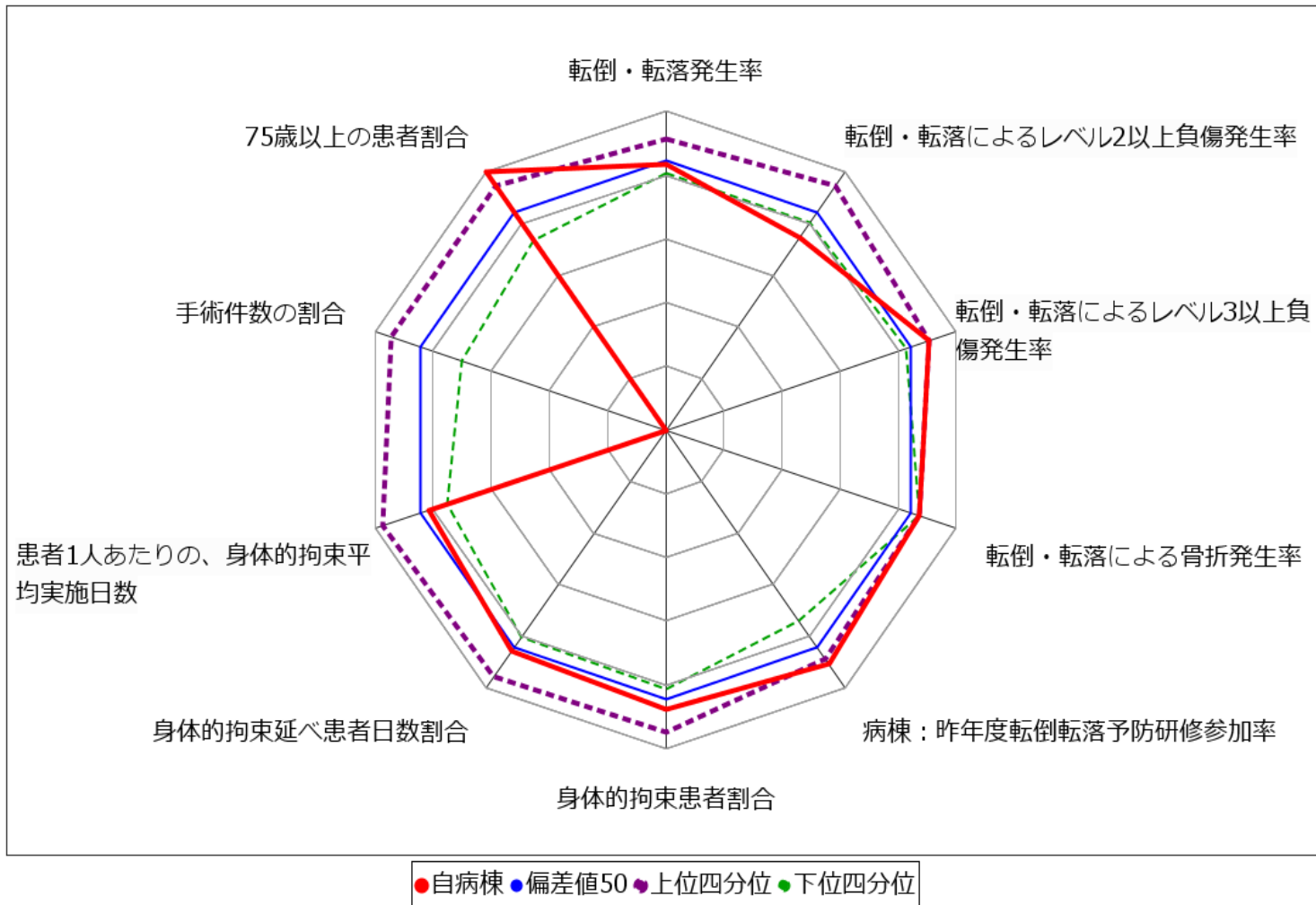
◆ 転倒転落インシデントの状況

今、発生している転倒転落インシデント
傾向を視覚的に捉えたい

➤ DiNQLのデータを使ってみよう

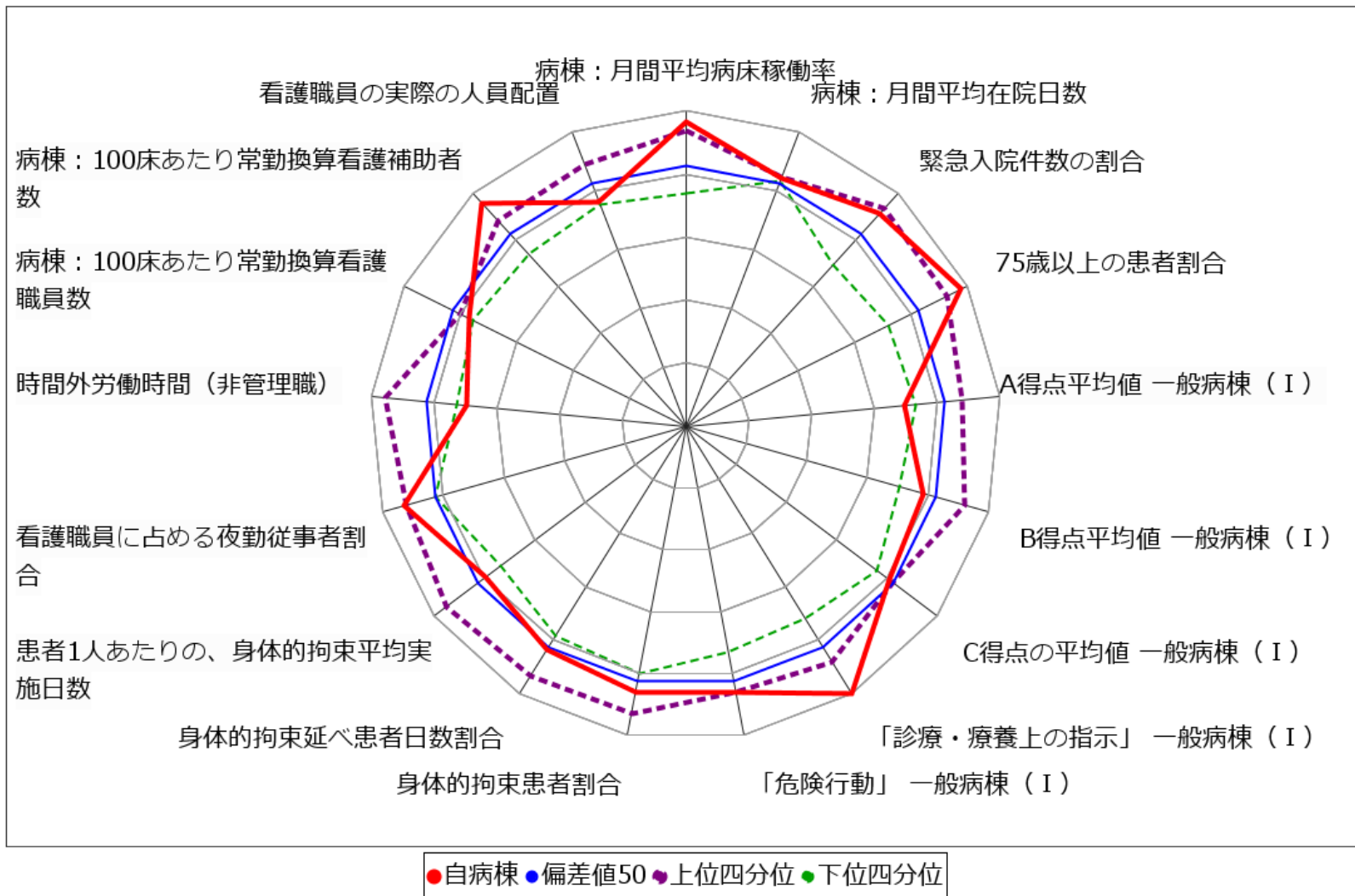


転倒・転落に関するレーダーチャート

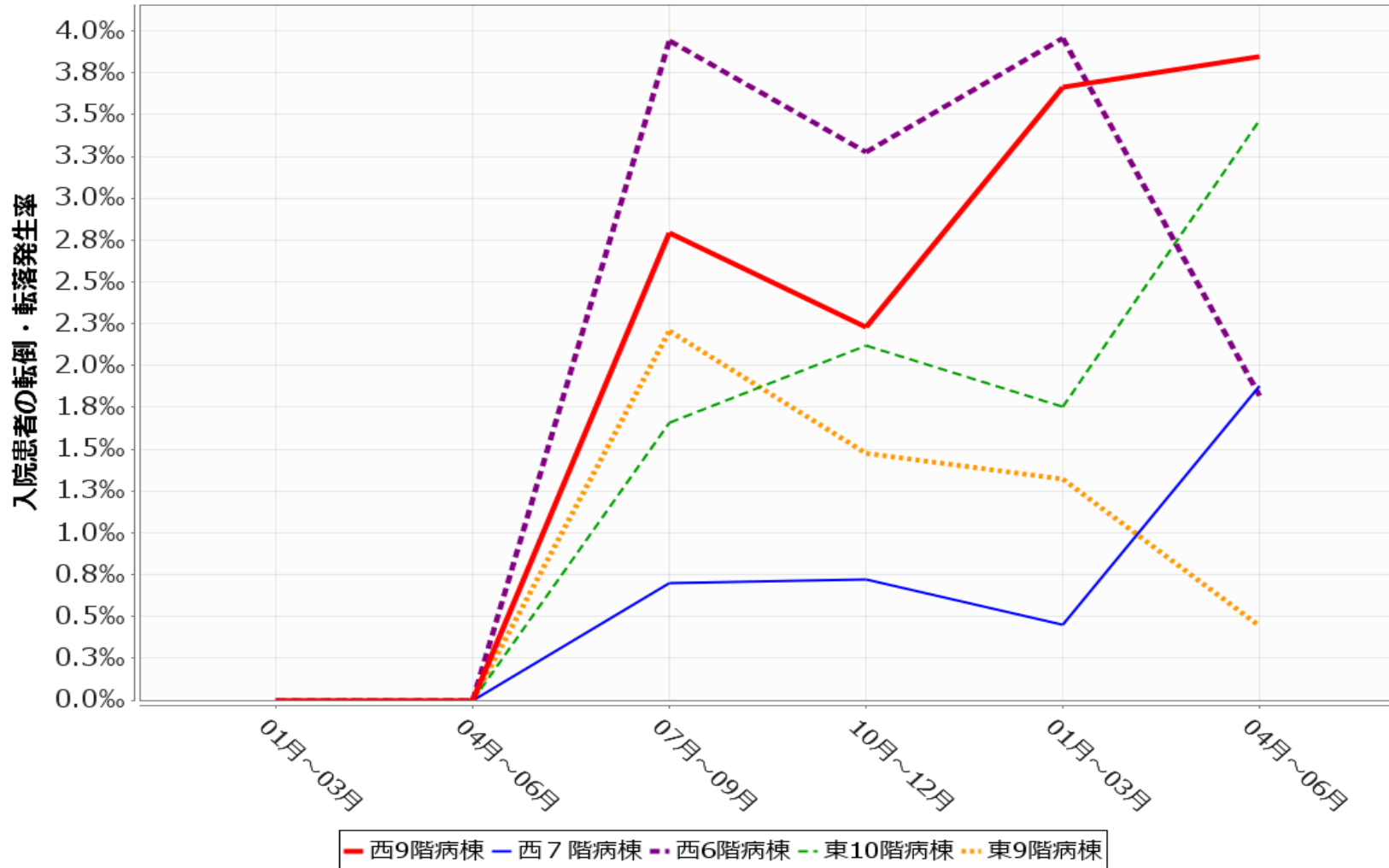


◆ DiNQLデータの活用 各病棟レーダーチャートの比較

病棟状況[一般病棟 (I)]に関するレーダーチャート

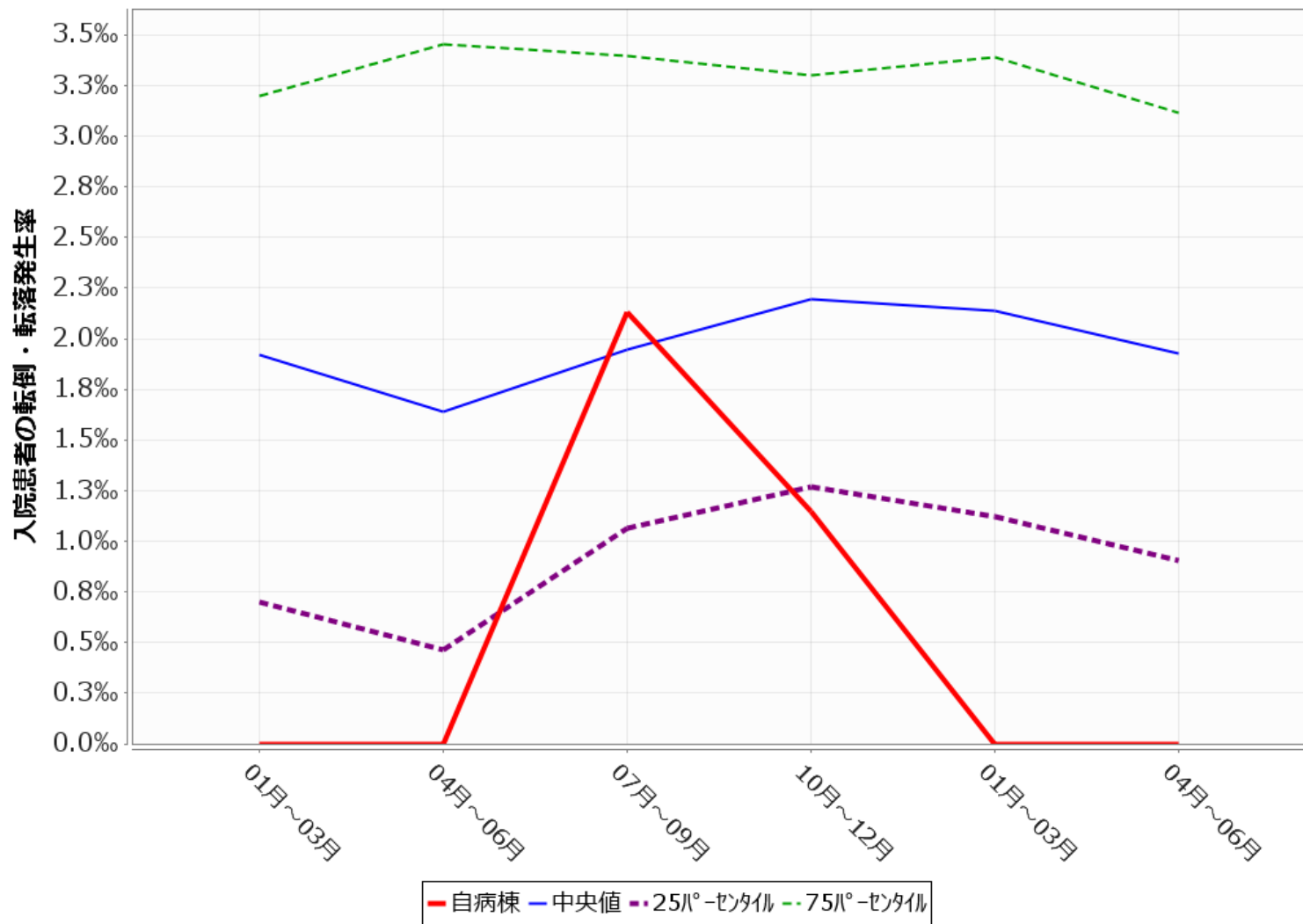


転倒・転落発生率に関する時系列推移データ



DiNQLデータの活用 2015年度転倒転落発生状況 全国

転倒・転落発生率に関する時系列推移データ



◆ DiNQLのデータの分析

他施設と比較し、75歳以上の入院患者が多い

院内5病棟比較で、突出した有意差はない

院内5病棟すべてが、7月に転倒転落件数が増加している

他施設でも7月にかけて転倒転落件数の増加がみられる



転倒転落インシデント内容の分析

- 転倒転落事例の半数以上は排泄行為に起因している
- 年齢は70歳以上が7割以上
- 7割以上に筋力低下など運動機能障害がみられた
- 7割以上に判断力の低下がみられた





以上の結果を踏まえ
高齢者の筋力低下と排泄行為に
着目した講義内容とした

患者アセスメントについて取り組んだこと

6月 新人研修

対象者：4月に入職した看護師60名
「転倒転落予防の為のアセスメント」

7月 医療安全研修

対象者：全職員
「転倒転落を防ぐために転ばぬ先の知識」

当日119名参加

e-ラーニングも含めると100%の受講率



患者アセスメントについて取り組んだこと



**6月の新人向け講義は
E部会の看護師が担当**

**7月の病院全体向け
講義はE部会の
理学療法士が担当**

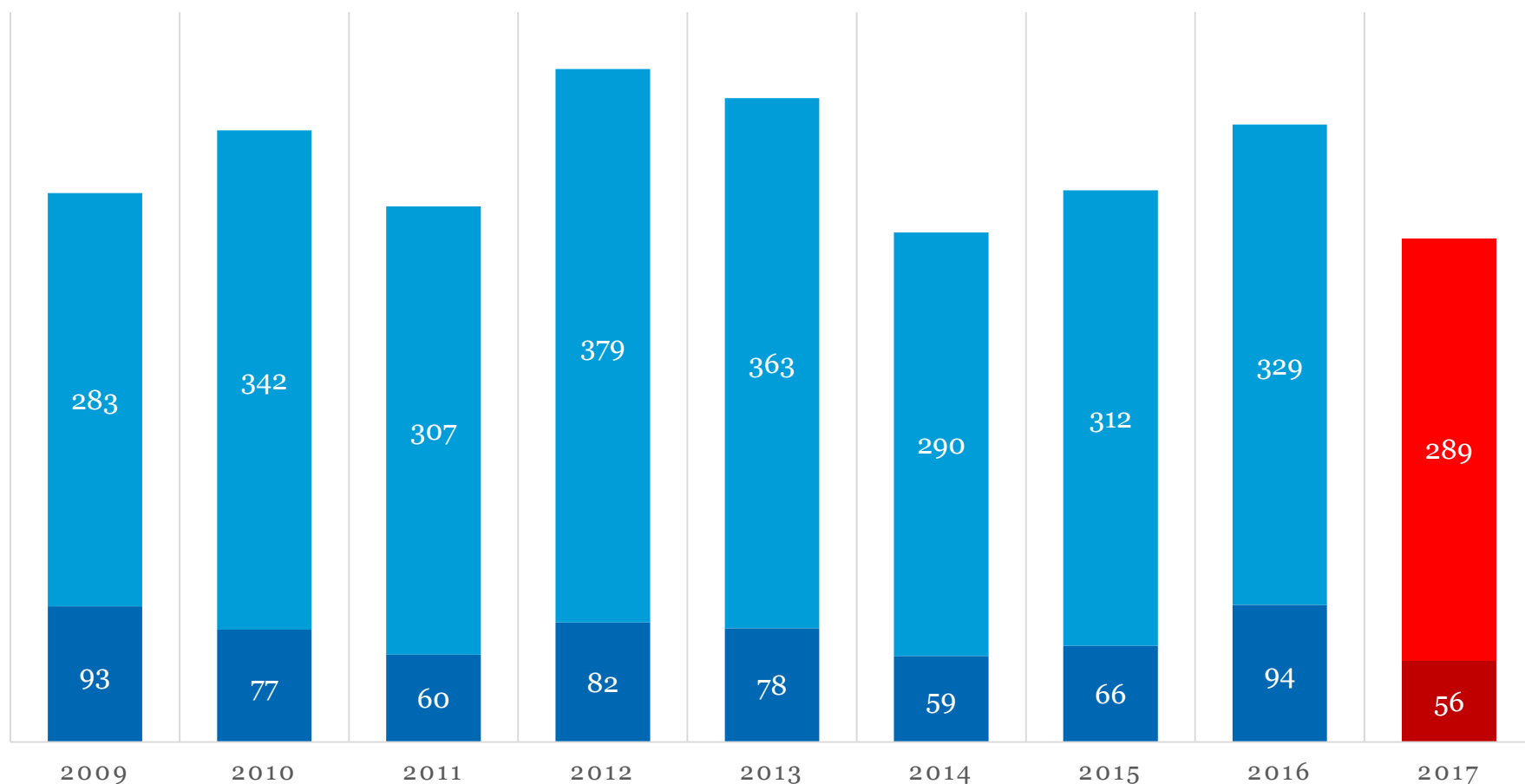




転倒転落インシデントの状況

転倒転落件数の推移

■ 転落 ■ 転倒



DiNQLデータの活用

DiNQLデータを活用することで
転倒転落予防の研修会の時期を
設定するのに役立った

転倒転落件数が増える前に研修を
行ったことで抑止力になった

◆ DiNQLデータの活用

理学療法士

DiNQLのデータを提示し、説明した
ことで意欲的に活動

50%以上の転倒事例が排泄に起因
していたことから、トイレ動作に着
目した教材を作った

◆ DiNQLデータの活用

医師

起こってしまった出来事を振り返るのではなく、先取りした対応がおもしろい。

とても意義ある活動だと思う。

教材のためのデータを提供。

職種は
違っても
ワンチーム

